



# NEWS

VOL.  
159

2012・7月発行

## 第48回体育祭

テーマ  
継承 創造 躍動

平成24年5月19日(土)

好天に恵まれ、第48回体育祭が盛大に行われました。午前中には初披露となった2年生の組体操や5年生のRope skippingなどの発表種目が行われ、どの発表種目も昨年度末から一生懸命練習してきた成果を出すことができました。午後からは応援団が主体となって作り上げた応援歌とともに紅白それぞれが一丸となって応援し、大きな盛り上がりを見せました。



紅組団長 藤河 希(Ⅲ-3)

私は5年間応援団をやってきて、今年ほど盛り上がった体育祭はないと感じました。ダンスや競技中の応援は全員で力いっぱい盛り上げ、時には気持ちを引き締め、私たちが目標としていた“楽しくメリハリのある応援団”をみんなで作り上げることができました。精一杯取り組んできた演舞は完成がギリギリになりましたが、全員で力を合わせ、それを成し遂げられたことで充実感と達成感を味わうことができました。このような経験をさせてもらったことにとっても感謝しています。



白組団長 北條 智也(Ⅲ-2)

僕は今まで応援団に参加したことがなかったので、分からない事も多くありましたが応援団長をさせてもらいました。今回の体育祭は、伝統を受け継ぎながらも応援歌などの初の試みもありました。不安な面もありましたが、初めてだからこそ思い切ったことができたと思います。練習は大変だったけれど、紅白で刺激し合ったり高め合ったりすることで本番ではとてもいい応援ができました。頼りない団長でしたが、付いてきてくれたみんなに感謝しています。

### CONTENTS

●第48回体育祭	1
●芸術鑑賞	2
●2年 ニュージーランド交換留学	3
●1年 新入生オリエンテーション	4
●2年～高Ⅲ 遠足	4
●40日は長い?短い?	5
～夏休みを極めるために～	
●新高校生徒会役員	5
●TOPICS～全国大会出場おめでとう～	6
●CLUB NEWS	6



フーメイ(喉歌)と伝統楽器の音色に魅了されました

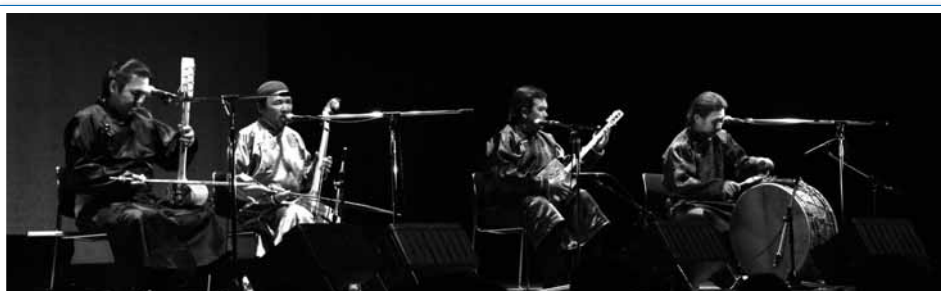
今年度の芸術鑑賞は「アジアの民族音楽～トゥバ、トルコから日本へ」と題し、はつかいち文化ホールさくらびあで行われました。午前中に中学生、午後に高校生が鑑賞しました。最初に出演した「Farha(ファルハ)」は主にアラブ音楽を演奏し、異国情緒あふれる曲調にホール全体が優しく包み込まれました。続くロシア連邦トゥバ共和国の音楽グループ「Huun Huur Tu(フンフルトゥ)」の演奏では、「フーメイ」と呼ばれるモンゴル系民族独特の喉歌で始まり、4人の男性ミュージシャンによる力強い歌声に圧倒されました。珍しい楽器と歌唱で彼らの愛する馬や森などの自然を表現する音楽に、空想散歩を楽しむことができたのではないのでしょうか。シンガーのおおたか静流さんはファルハ・フンフルトゥのいずれとも息のぴったり合った歌唱を披露。西アジア、中央アジア、日本が音楽でつながった瞬間でした。おおたかさんのソロタイムでは客席を巻き込んだパフォーマンスで生徒も教員も大いに沸きました。忙しい毎日の中でしばし日常を忘れ、アジアの雄大な音楽世界に身をゆだねた心豊かな時間でした。



「でんでら」で会場を沸かせたおおたかさん

ファルハの曲はアラビアの世界を感じ、神秘的でした。ウードの音が独特の世界観をつくり出していて面白かったです。おおたか静流さんの歌もとても素晴らしかったです。女性なのに力強く、よくのびて通る歌声でした。フンフルトゥの曲には、言葉がなくても音楽で通じるものがあるのだと再認識させられました。 5年6組 椛島 美空

フンフルトゥの「祈禱」という曲が心に残りました。低くなったり高くなったりする声は、とても印象的でした。それに楽器も上手で、4人で演奏する音が、ひとつひとつ力強く聞きやすかったです。民族音楽を通じてトゥバの文化を感じ、ふるさとへの思いが込められていると思いました。 3年1組 矢野 琢真



迫力あふれる演奏のフンフルトゥ



ファルハはエジプトの抒情的な古典曲を奏でました

今まで自分と全く関わりがなく、全く知らなかったトゥバ共和国。この国を少しでも音楽を通して知ることができ、音楽というもの、人と人をつなぐ大切なものだと思います。芸術鑑賞をする前は、民族音楽なんか聞いてどうするんだろう…と思っていましたが、演奏後は、トゥバ共和国に住んでいる人々のことを、音楽だけで何となく想像することができました。改めて音楽の素晴らしさを感じた一日になりました。 1年2組 須藤 晏也乃

一番印象に残った曲は、フンフルトゥとおおたか静流さんとの即興演奏です。即興演奏と聞くと、いつも「本当は即興じゃなくて本番前に計画してるんじゃないか」と思うのですが、演奏を聞くとそんなこともすぐに考えられなくなりました。しかも今回は演奏だけでなく歌も入り、タイミングやリズムが難しいと思うのですが、よくあんなに堂々としてくれるのだと感動しました。 2年5組 益田 もも子

このような日本以外の国の音楽を聞くことは、学校行事以外ではあまりないと思うので、とてもいい機会だった。聞いたことのない音楽だったので「どうやって演奏しているのか」「これは何を表現しているのだろう」と終始見入っていた。演奏を聞いて、初めてのものを見る時は、知識や先入観などが何もないため、純粋に見ることができるのだと改めて思った。芸術に触れることは、自分に新たな価値観を生じさせるのではないかと思った。 4年4組 橋本 大輝

音楽とは言っても、本当に未知の音楽であり楽しみだった。今までになかった音楽観でどういふものか想像がつかなかったが、実際に聴いてみると、10拍子やホール全体に響く深い歌声など驚くばかりであった。フンフルトゥの深い声は、ステージから聞こえるのではなく、壁や床・天井からさえも聞こえてくるような感じがして、ホール全体が振動しているような不思議な錯覚が起きて面白かった。 Ⅲ年3組 横崎 美遼

ニュージーランドのバサデナ中学校より20名の交換留学生が来校しました。本校交換留学生は、バサデナ生と約2週間、生活を共にしながら仲を深め合い、言葉や価値観の異なる彼らとの交流を通して、相互理解の大切さを知り、外国語への興味関心を高める機会になりました。また、学年としては、工夫を凝らした歓迎会や歓送会を協力して創り上げ、授業や体育祭でお互いの学習成果を確かめ合うことができました。

7月には本校の生徒がニュージーランドに留学します。生徒たちは、再会できることの喜びと期待に胸をふくらませ、その日を待ち望んでいます。



体育祭での綱取り合戦

食生活も日本とは全く違い、マディソンは主にポテトを食べていました。しかし、日本食もよく食べていました。例えば、いなり寿司や流しそうめんなどにとても興味を持っていました。文化によって生活や食べ物に違いがあるということを知りました。  
2年3組 藤田 真奈



ニュージーランドの伝統的な遊びで交流



授業で先生の言葉を真剣に



漢字で自分の名前を



一緒にうどん作り



バサデナ生に授業プリントの説明を



上手に箸を使えるかな?

初めは恐る恐る言った僕の英語をドミニクは「I don't understand.」と言った。その文を直し、もう一度、さらにもう一度と繰り返して言い、ようやく通じた時はとても嬉しかった。完璧な英文ではなく、つぎはぎの英語でも、とりあえず改良を重ねてたくさん話すことが大切であるということに気が付いた。それが分かってからドミニクと僕は溢れんばかりに毎日英語で話した。僕の英語が通じるだけで、たまたま嬉しかった。  
2年1組 佃 啓介

バサデナ生の受け入れを終えて、とにかくほっとしました。マックスが日本に来て2日くらいは自分のレベルの低い英語力で通じるとしても不安でした。でもそのようなことは言うていられなくなり、単語をつなぎ合わせて話して、ジェスチャーを使うと、伝わることはたくさんありました。それだけで心がつながったみたいで、とても嬉しく思いました。ニュージーランドに行く時には、今より少しでも英語を上手く話せるようになって、彼を驚かせたいです。  
2年4組 坂本 貴滉

国が違ってそれぞれの言語や文化が違って「相手が笑顔になったら自分も笑顔になる」という笑顔の環のようなものがすばらしいなと思いました。休日の過ごし方一つをとってもかなり悩みましたが、メイジーの喜ぶ顔が見たくて一生懸命でした。留学生の受け入れは相手の立場になって考えることが大切なのかなと思いました。楽しく過ごしてくれたメイジーにも感謝したいと思います。  
2年5組 尾形 星

今年度の新入生オリエンテーションは広島工業大学沼田校舎で実施しました。

このオリエンテーションは、広島なぎさ中学校生徒としての自覚を高め、集団行動を通じて規律ある生活態度を養うこと、そして生徒同志の仲間意識を培い、生徒と教師の相互理解を図ることを目的として行われました。生徒たちは豊かな自然に囲まれて、乗馬やNAP(なぎさアドベンチャープログラム)、大縄跳びを行い、互いに協力したり励まし合ったりしながら次第にうち解け合っていました。また、校長・教頭・生徒部長の講話を聞いたり、校歌を練習したりすることで、中学生になるための自覚を再認識できました。集団行動の難しさや時間を守ることの大切さなど、本校での生活を有意義にしていくための心得も身につけることができ、充実した2日間となりました。



メモを取りながら講話を聞きました



初めての乗馬にドキドキ



NAP後に学びを共有しました



みんなで息を合わせて「せーの」



きれいなハーモニーが講義室に響きました

オリゼミを終えて、私が一番心に残っていることは「友情の大切さ」です。私の靴がなくなったときに、時間が無いにも関わらずみんな最後まで一緒に探してくれました。とても嬉しかったです。これからは私が、困っている人がいたら助けることのできる、かっこいい中学生、みんなに尊敬される中学生になりたいです。 1年2組 大本 乃瑛

私はこの2日間のオリゼミを終えて、当たり前なのが当たり前になるのはとても気持ちが良いことなんだと感じました。例えば、10分前行動・5分前集合は、最初はできないところがあったけれど、2日目はきちんとそろっていました。5分前にはもうみんなが集合しているのを見て、私はとてもいい気持ちになりました。当たり前のことのできる人になるためには、しっかり話を聞いておくことが大事だと思います。 1年5組 寺川 郁

## 2年～高III 遠足

前日までの悪天候が嘘のように晴天となり、今年もそれぞれの学年に合った内容の遠足が行われました。

3年生は、宮島で弥山登山を行いました。多くの生徒が登山未経験で、期待と不安の中、始めました。途中の紅葉谷公園で休憩した後、本格的に登り始めると生徒の口から「え～まだ」「どこまで登るん」という言葉が聞こえてきました。それでも友達と励まし合いながら頂上に到着したときの気持ちやそこで食べたお弁当の味は、これまでに経験したことのない貴重なものとなりました。

### 2年 三次風土記の丘



奈良・京都研修旅行へ向けて「歴史を学ぶ姿勢」

### 3年 宮島弥山



ようやく頂上での昼食

### 4年 もみのき森林公園



バーベキューを楽しむ生徒たち

### 5年 しまね海洋館アクアス



バックヤード見学ツアー

### 高III 尾道



自由行動を満喫

高Ⅲ編 「計画と実行を極める」

本校に入学してから、「なりたい自分」になれるように毎日努力し続けてきたⅢ年生。今、目の前にある最大のハードルは「大学入試」。この夏休みは、そのハードルを確実に越えられる力をつける大切な時間です。力をつけるための計画は…?



1 志望校の決定

必要な教科の学力レベルの確認

▶▶ 自分自身の課題を明確化しよう。

2 利用するものを明確にする

夏休み中に利用できるものを明確にする(夏季補習・問題集・模擬試験など)。

何を利用するかを決めたら、とにかく最後までやり遂げることが大切!

3 計画の立て方

40日間の計画表の作り方

計画を立てる

意識  
すること

- A メリハリのある生活リズム(起床時間・食事時間・就寝時間の固定)
- B 教科の優先順位と時間配分

成功者  
の声

- 忘れることを前提に何度も復習できる計画にした
- 1日毎に取り組む分野を決めて勉強した
- 参考書のどこまでやるかを1週間ごとに計画した
- 起床後の3時間は苦手科目をやることにした

生活時間の乱れは「最大の敵」。集中力を保つためにはメリハリのきいた生活リズムが保てる計画にすることが重要であることを再度強調しておきます。

チェックと修正

実行と修正

すべき  
こと

- A 毎日の進行具合の確認
- B チェックをしながら見えてきたことを計画表に加え修正

成功者  
の声

- 解いた問題に印をつけ努力が見えるようにした
- 勉強の量や時間でノルマを決め達成したら少し休むと決めていた
- 1週間単位で学習進度の目標を決め実行した

この「チェックと修正」が学習のうえでとても重要です。チェックを通じて自分の弱点が見えてきます。常に修正を加えながら行動することが成功への第一歩です。

結果の確認 ▶▶ 夏休みの努力の結果は、休み明けテスト・9月マーク模試・10月記述模試で確認できます。そして次の効果的な計画が立てられるのです!!

大学受験に成功した先輩たちの多くが指摘しているのは「基本」の重要性です。  
「基本」がないと応用力が育成されるはずがありません。  
夏休みの間に「基本を徹底理解」しておくことを勧めます! 頑張れ! 高Ⅲ生!

続け! 後輩たち!!

4・5年編 「計画と実行を極める」

40日間の計画表の作り方 ▶▶ 高Ⅲ編を参照しよう。

これに+α

オープンキャンパスに行こう!

4、5年生のうちに大学を肌で感じておくことは大切です。印刷物の「大学案内」や大学のホームページだけでは、大学の本当の姿はなかなか見えないものです。オープンキャンパスに参加し目標を定めて早くから努力を始めた人ほど第一志望の大学に合格しています。

本物の体験をしよう!

4年の語学研修や5年の研修旅行は自分の将来の可能性を広げるための貴重な体験です。また、じっくりと落ち着いて読書ができるのも5年生まで。たくさんの本を読んでおくことも、自分の可能性を広げることにつながります。

続け! 後輩たち!!

1~3年編 「夏休みの過ごし方を極める」

夏休みとは? ▶▶ 自分が自由に使える時間が豊富にある時

だからこそ

セルフコントロールを会得しよう!

充実した夏休みにするためには、自分で計画を立て自分の意志で実行することが必要になります。計画の立て方や実行方法の基本は、高校生と同様です。自分自身をコントロールする能力が身につけば、自分の能力をぐんぐん伸ばすことができます。

復習を徹底しよう!

中学の学習内容が高校での学習の基礎になっているのは当然のこと。授業ノートのまとめ直しや、これまでの練習問題・試験問題の再復習など、夏休みには時間をかけてしっかりと復習することができます。

新高校生徒会役員

はじめまして、今年度の生徒会長を務めさせていただく馬場琢己です。私は、生徒の皆さんが何かやりがいを持って学校生活を過ごし、充実した毎日を送ることを強く望んでいます。そのために何かできることがあれば何でも気軽に相談して欲しいと思っています。また、生徒の皆さんや先生方にとって楽しい学校にするために、何事にも全力で取り組んでいきますので、あたたかい目で見守ってください。これから、一年間よろしくお願ひします。

会 長	馬場 琢己 (5-6)	書 記	青木 信汰郎 (4-5)
副 会 長	本畝 瑞歩 (4-6)		嶋谷 紗希 (5-4)
会 計	寺西 紗綾 (4-5)	文化部長	後中田 高也 (4-4)
	木本 実玖 (4-6)	運動部長	松村 聡美 (5-6)
会 計 監 査	和田 康次郎 (5-4)	風紀委員長	村上 幸広 (5-6)
	宮戸田 顕音 (5-6)	美化委員長	紀 有紗 (5-1)

第36回全国高等学校総合文化祭

富山県で開催される「全国高等学校総合文化祭」に囲碁将棋部・山田桃さんの出場が決定しました。これで本校から4つのクラブが参加することになります。

◎ 囲碁将棋部 [将棋部門]

日程:平成24年8月8日(水)・9日(木) 会場:クロスランドおやべ(富山県小矢部市)

中学時代の全国大会ではあと一歩というところでベスト8に届かなかったのが、それ以上の成績を目指したいと思います。大会では時間に追われて慌てて指すことがないようにリラックスしてがんばります。今回の全国大会出場で自信をつけて、掛け持ちしている陸上部でもいい結果が出せるようにしたいと思っています。 4年2組 山田 桃



◎ バトン部 [マーチングバンド・バトントワリング部門]

日程:平成24年8月10日(金) 会場:氷見市ふれあいスポーツセンター(富山県氷見市)

◎ 室内楽部・吹奏楽部 [器楽・管弦楽部門]

日程:平成24年8月11日(土) 会場:富山市芸術文化ホール(富山県富山市)

◎ 放送部 [放送(アナウンス)部門]

日程:平成24年8月12日(日) 会場:富山国際会議場(富山県富山市)

第59回NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門で、広島県代表として本校から放送部の2名が選ばれました。東京で開催される全国大会に参加します。

日程:平成24年7月23日(月)~26日(木)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター・NHKホール



左から三小田くん、小山くん

すでに総合文化祭で全国大会出場が決まっていたので、大きなプレッシャーを感じていました。でも、「自分のそんな気持ちは会場で聞いている人には関係ない。とにかくしっかり伝えよう」と思ってアナウンスにのぞみました。決勝では緊張して実力が出せず悔しい思いをしたので、この失敗を活かして、東京では小山君とともに満足のいく結果を出したいです。 Ⅲ年1組 三小田 匠

今回このような結果を出すことができたのは、周囲の方々の支えがあったからです。熱心に指導してくださった先生方や多くの助言をくれた先輩、そしていつも励ましてくれた家族に感謝しています。全国大会では「相手に伝える」ことを第一に、落ち着いて自分らしいアナウンスを心がけたいです。 5年2組 小山 稔史

平成24年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

高校陸上部の池内雅貴くんが男子200mで中国大会第3位という好成績を収め、「全国高等学校総合体育大会」への出場権を勝ち取りました。今年のインターハイは北信越で行われますが、陸上競技は新潟県で開催されます。

日程:平成24年8月1日(水)

会場:東北電力ビッグスワンスタジアム(新潟県新潟市)



今まで仲間やライバルと切磋琢磨してきたからこそ、インターハイに行くことができました。また、みんなの応援がなければ、結果も全く違うものになっていたと思います。今回の結果は、決して自分一人で掴んだものではないと感じています。現状に慢心することなく、最高の舞台で自分の納得できる走りをしたいと思っています。 5年6組 池内 雅貴

CLUB NEWS

高校陸上部

●第65回広島県高等学校総合体育大会(陸上競技)

日程:平成24年5月25日(金)~27日(日)

成績:男子トラックの部 第6位

男子走り幅跳び

渡邊 浩陽(Ⅲ-1) 第5位【中国大会出場】

男子100m

池内 雅貴 第1位【中国大会出場】

男子200m

池内 雅貴 第1位【中国大会出場】

男子4×100mリレー

渡邊 浩陽、池内 雅貴、角山 巧(5-6)、恵良 昂平(4-1)

第2位【中国大会出場】

●第65回中国高等学校陸上競技対校選手権大会

日程:平成24年6月15日(金)~17日(日)

成績:男子200m

池内 雅貴 第3位【インターハイ出場決定】

男子4×100mリレー

渡邊 浩陽、池内 雅貴、角山 巧、椎原 尚也(5-1)

第7位

囲碁将棋部

●第36回全国高校総合文化祭将棋部門

第48回全国高校将棋選手権大会広島県予選

日程:平成24年5月13日(日)

成績:女子個人

山田 桃 準優勝【全国大会出場決定】

高校硬式テニス部

●平成24年度第65回広島県高等学校総合体育大会

テニス競技(男子)団体戦

日程:平成24年6月2日(土)・3日(日)

成績:ベスト8

●平成24年度第65回広島県高等学校総合体育大会

テニス競技(男子)個人戦

日程:平成24年6月3日(日)・9日(土)・10日(日)

成績:ダブルス

青木 信介(Ⅲ-2)・武久 翔悟(4-3)【中国大会出場】

シングルス

武久 翔悟【中国大会出場】

●平成24年度第52回中国高等学校テニス選手権大会

(個人戦)

日程:平成24年6月16日(土)~18日(月)

成績:男子ダブルス

青木 信介・武久 翔悟 2回戦進出

男子シングルス

武久 翔悟 2回戦進出

放送部

●第59回NHK杯全国高校放送コンテスト

第53回広島県大会

日程:平成24年6月10日(日)

成績:アナウンス部門

三小田 匠 第4位【全国大会出場決定】

小山 稔史 第5位【全国大会出場決定】

中学陸上部

●平成24年度広島市中学校陸上競技選手権大会

日程:平成24年6月2日(土)・3日(日)

成績:2年男子1500m 林 英田(2-1) 第5位

1年女子100m 鎌田 なるみ(1-5) 第1位

3年女子100m 水谷 瑛美莉(3-3) 第3位

3年女子200m 藤井 友花(3-3) 第8位

一部女子100m 水谷 瑛美莉 第5位

一部女子1500m 中野 夢果(3-5) 第8位

一部女子砲丸投 脇田 愛生(3-2) 第6位

一部女子4×100mリレー

脇田 愛生・水谷 瑛美莉・藤井 友花・鎌田 なるみ

第7位

中学テニス部

●第39回(2012年度)全国中学生テニス選手権大会

広島県予選大会

日程:平成24年5月3日(木)~6日(日)

成績:男子団体戦 第1位【中国大会出場決定】

男子個人戦シングルス

丸石 拓海(3-5) 第2位【中国大会出場決定】

竹野 光稀(2-3) 第3位【中国大会出場決定】

澤田 文弥(2-1) 第9位【中国大会出場決定】

男子個人戦ダブルス

丸石 拓海・竹野 光稀ペア 第1位【中国大会出場決定】

澤田 文弥・村竹 裕貴(1-3)ペア 第4位

【中国大会出場決定】

●平成24年度広島市中学校テニス選手権大会

日程:平成24年6月2日(土)・3日(日)

成績:男子団体戦 第2位

男子個人戦シングルス 竹野 光稀 第2位

丸石 拓海 第3位

澤田 文弥 第3位